

具体的行動計画（令和4, 5, 6年度実績 令和7年度計画）

重点施策		具体的 行動計画	主な取り組み内容 【主担当組織】	計画 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(1)森林を活かし地域産業を伸ばす	1)伐採推進に向けた原木生産コスト低減及び技術研究など新たな取り組み	①間伐に加え主伐による原木生産の取り組み	主伐生産体制の構築 ア 主任技術者の養成 【森組・市】	計画	技術習得研修等	技術習得研修等	技術習得研修等	技術習得研修等	技術習得研修等
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了：項目削除				
			イ 森林組合主伐班整備 【森組・市】	計画	主伐班組織化	主伐班組織化	主伐班組織化	主伐班組織化	主伐班組織化
				実績	架線系の集材方法について、先進地の取り組み事例を参考としながら、情報収集に努めた	8名で主伐班を3班組織していたが、2名の退職があり人員減となり保育班からの人員協力を得た	6名で林産班を3班組織しており、初期の伐採時には森林育成係より一時的な増員を行った	6名で林産班を3班組織しており、初期の伐採時には森林育成係より一時的な増員を行う	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			ウ 市外素材生産事業者との連携 【森組】	計画	連携の取り組み展開	連携の取り組み展開	連携の取り組み展開	連携の取り組み展開	連携の取り組み展開
				実績	他事業体の伐採計画の早期把握及び、大田市森林整備計画に即した更新作業における協力体制の構築に努めた	活性化センターが開催した県外先進事業体(大分県：佐伯広域森林組合)への研修に参加し、情報収集を行った	佐賀県(県職員、市職員、森林組合)が大田市森林組合に視察に来たことで、情報共有を行った	播磨屋林業・斐伊川流域活性化センターにおいて、取り組み事例を発表し、それぞれの取り組みについて協議を行う	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		②路網整備と機械化(架線含む)による低コスト生産	ア 計画的な路網開設 【森組・県・市】	計画	開設	開設	開設	開設	開設
				実績	森林資源の充実した箇所を循環型林業拠点団地として設定し、路網開設による重点的な原木生産を推進した(市内9団地)	循環型林業拠点団地を定め、林業公社等他の機関とも連携した効率的な路網開設を行った(林専道3,658m)	循環型林業拠点団地を定め、林業公社等他の機関とも連携した効率的な路網開設を行った(林専道2,252m)	引き続き林専道の開設を行い、循環型林業拠点団地の策定を行うことで計画的な素材生産を実施する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			イ 新たな機械化技術習得 【森組】	計画	現場取組	現場取組	現場取組	現場取組	現場取組
				実績	県等で開催される、先進的事例への取り組みについて、研修会等に積極的に参加した	活性化センターが開催した県外先進事業体(大分県：佐伯広域森林組合)への研修に参加し、情報収集を行った(再掲)	福井県で行われた林業機械展に参加し、最新の機械についての情報収集を行い、吉賀町で開催された林業省力化技術実証現地研修会にてその展示会に出展された伐倒機械による研修を行った	中山間地域研究センターに協力しながら、機械による地拵の現地試験を行うことで、機械下刈の有効性を検証し、県の事業に即して、フォーリングブロックによるスイングヤーダの有効活用を目指して搬出作業に取り組む	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載

		③伐倒木の枝葉利用等による立木一本あたりの収益向上	ア 全木伐採・搬出技術の導入【森組】	計画	技術習得	技術習得	技術習得	技術習得	技術習得
				実績	再造林を視野に入れた、林地残材の積極的利用に努めた	林業公社更新伐事業など、路網を活用した搬出技術の向上に努めた	浜田港からの中国輸出材に出材し、C材の有利販売に取り組んだ	受託更新伐事業地において、作業道沿いに枝葉を集積し、バイオマス燃料として山興緑化に枝葉を収める	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			イ 伐倒木の葉枯らし乾燥の実践【森組】	計画	現場取組	現場取組	現場取組	現場取組	現場取組
				実績	主伐地における実施及び中山間研究センター協力の元、その検証に取り組んだ	伐採地の状況、時期を見定め今回は実施を見送った	現場単位で取り組むことはできなかった	梅雨明けより主伐地で取り組む	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		④市有林等からの原木供給による伐採意欲の喚起	ア 市有・市行造林の計画的伐採【市】	計画	需要動向等に応じ計画修正：市	需要動向等に応じ計画修正：市	需要動向等に応じ計画修正：市	需要動向等に応じ計画修正：市	需要動向等に応じ計画修正：市
				実績	東上山市有林での立木売り払いによる主伐を実施した	東上山市有林等でデジタル計測を実施し、新技術の検証を行うとともに立木売り払いを実施した	東上山市有林等でデジタル計測を実施し、新技術の検証を行うとともに立木売り払いを実施した	Jクレジットの取り組みが始まることで主伐を一時停止する方向となったが、引き続き間伐を続けていく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			イ 民有林の伐採促進【市】	計画	下刈り助成等伐り控え対策展開	下刈り助成等伐り控え対策展開	下刈り助成等伐り控え対策展開	下刈り助成等伐り控え対策展開	下刈り助成等伐り控え対策展開
				実績	森林環境譲与税を活用した伐採後の造林・保育の経費を支援した	森林環境譲与税を活用した伐採後の造林・保育の経費を支援した	森林環境譲与税を活用した伐採後の造林・保育の経費を支援した	引き続き森林環境譲与税を活用した伐採後の造林・保育の経費を支援する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		⑤原木販売戦略	ア 将来の原木増産に応じた海外輸出や都市部での販売戦略研究【森組・市】	計画	森林認証・海外輸出情報の収集	森林認証・海外輸出情報の収集	森林認証・海外輸出情報の収集	森林認証・海外輸出情報の収集・研究	森林認証・海外輸出情報の収集・研究
				実績	浜田港での輸出について情報収集を行った	浜田港からの原木輸出に関する事業者からの情報提供の機会を設け、3月より輸出を開始した	引き続き中国への輸出材を継続的に浜田港へ出荷した	引き続き中国への輸出材を継続的に浜田港へ出荷する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載

重点施策		具体的 行動計画	主な取り組み内容 【主担当組織】	計画 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(1)森林を活かし地域産業を伸ばす	2)高度な技術を有する人材と事業体の育成	①木質バイオマス発電原料需要に応じた伐木・造材	ア 全木伐採・搬出技術の導入 【森組・県】	計画	技術習得	技術習得	技術習得	技術習得	技術習得
				実績	再造林を視野に入れた、林地残材の積極利用に努め、資源の情報提供にも努めた	活性化センターが開催した県外先進事業体(大分県:佐伯広域森林組合)への研修に参加し、情報収集を行った(再掲)	佐賀県(県職員、市職員、森林組合)が大田市森林組合に視察に来たことで、情報共有を行った(再掲)	引き続き、他の事業者との情報交換、共有を行うように努める(再掲)	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		②企画力を有する人材の育成	ア 森林や施業の集約化、路網計画、原木生産方法や収益、再生・保育方法や費用など総合的に企画・提示実践能力の向上 【森組・県】	計画	集約化技術、主伐収支計算能力、再生・保育経費軽減能力向上	集約化技術、主伐収支計算能力、再生・保育経費軽減能力向上	集約化技術、主伐収支計算能力、再生・保育経費軽減能力向上	集約化技術、主伐収支計算能力、再生・保育経費軽減能力向上	集約化技術、主伐収支計算能力、再生・保育経費軽減能力向上
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
			イ 人材をフル活用する体制の整備 【森組・県・市】	計画	組織体制の強化	組織体制の強化	組織体制の強化	組織体制の強化	組織体制の強化
				実績	事務職員の退職と新規就業があり、新しい体制となった	事務職員の退職に伴い、2名の若い新規就業があり、年齢構成のバランスに配慮した	県から提供があった航空レーザデータを活用し、境界明確化を行い意向調査も行ったことで、森林資源の把握を進め効果的な提案を実施をした	航空レーザ計測データを活用した森林資源解析の材積と現地実調査の材積を比較検討し、その制度を検証し素材生産現場での利用を図る	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
	3)安定かつ効率的な原木流通体制の強化	③技術定着の取組支援	ア 多様な技術を有する者との就業マッチングやフォローアップ 【市・森組】	計画	学校訪問等マッチングなど展開	学校訪問等マッチングなど展開	学校訪問等マッチングなど展開	学校訪問等マッチングなど展開	学校訪問等マッチングなど展開
				実績	大田市森林組合の1から3年目までの新規就労者定着支援策を導入した	県と連携し県立遼摩高等学校の林業学習機会を活用し、林業・木材産業への理解を図った	県と連携し県立遼摩高等学校の林業学習機会を活用し、林業・木材産業への理解を図った	県と連携し県立遼摩高等学校の林業学習機会を活用し、林業・木材産業への理解を図る	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		①原木供給情報の共有	ア 製材原木需要、原木価格や伐採情報など需給情報を各分野で共有する仕組みづくり 【市場・森組・製材・市】	計画	グループ化	情報共有の仕組み構築			
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:④に統合				
		②原木安定供給の仕組みづくり	ア 市と市場との原木供給協定 【市場・市】	計画	市供給協定の仕組み研究	市供給協定の仕組み研究	市供給協定の仕組み構築	市供給協定の仕組み構築	市供給協定の仕組み構築
				実績	東上山主伐現場での伐採事業者と木材市場の現地協議を実施した	木材市場への定期的な納材を見据え、市場との協議を開始した	市場を通じて木材供給が拡大する制度の導入を検討した	公共建築物建設に向けた情報共有の仕組みづくりを行っていく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			イ バイオマス原料供給の仕組み 【森組・市場・市】	計画			バイオマス原料供給の仕組み研究	バイオマス原料供給の仕組み研究	バイオマス原料供給の仕組み研究
				実績			受給バランスの収支部分で調整が必要	引き続き、動向を確認し、収支受給バランスの研究に取り組んでいく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
	④市場機能の拡充・強化	③原木の需要マッチングの取組	ア 市場や製材所による採材指導 【市場・製材】	計画					
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
			ア 工場での仕分け、ストック機能の強化 【市場・製材・森組・市・県】	計画	仕分・ストック機能強化支援策検討	仕分・ストック機能強化支援策検討	仕分・ストック機能強化支援策検討	仕分・ストック機能強化支援策検討	仕分・ストック機能強化支援策検討
				実績	市場での仕分け経費支援により出荷材の拡大を進めた	市場での仕分け経費支援により出荷材の拡大の継続した	市場での仕分け経費支援により出荷材の拡大を継続した	市場での仕分け経費支援により出荷材の拡大を継続する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		イ 事務作業のデジタル化 【市場・製材・市・県】		計画	デジタル化の検討	デジタル化の検討	取り組み実施	取り組み実施	取り組み実施
				実績	原木検収作業効率化用機器及び需給システム等対応用市売システム導入支援を行った	県が導入した原木流通マッチングシステムの運用を開始した	原木流通マッチングシステムとSNSを併用した取り組みを行った	原木流通マッチングシステムを県外事業者への情報共有に使用していく等、需要の活用を検討していく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載

重点施策		具体的 行動計画	主な取り組み内容 【主担当組織】	計画 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(1)森林を活かし地域産業を伸ばす	4)競争力ある木材産業の成長産業化	①品質の確かな木材製品の供給	ア JAS認定に加え、ヤング係数表示による強度・性能明確化の仕組みづくり【製材・設計・建築・市】	計画					
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了：項目削除				
			イ 製品ストックヤードや加工施設の強化【製材・市】	計画	原木増産状況に合わせて強化・研究・検討	原木増産状況に合わせて強化・研究・検討	原木増産状況に合わせて強化・研究・検討	原木増産状況に合わせて強化・研究・検討	原木増産状況に合わせて強化・研究・検討
				実績	各種交付金を活用し、県と連携した製材施設整備（ボイラー、乾燥機、仕上げ機械）を進めた	各種交付金を活用し、県と連携した製材施設整備（製材機インバータ）を進めた	高品質化効率化を拡大するため、引き続き、製材施設整備を支援した	高品質化効率化を拡大するため、引き続き、製材施設整備を支援する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			ア 市内で枯渇する樹種の支援による加工能力（ブランド製品）維持の検討【製材・市】	計画					
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了：項目削除				
		②原木の品質確保	イ マツ材等貯木手法検討による生産時期の平準化【製材・県・市】	計画	閑散期施設稼働率向上検討	閑散期施設稼働率向上検討	閑散期施設稼働率向上検討	閑散期施設稼働率向上検討	閑散期施設稼働率向上検討
				実績	計画無し	計画無し	計画なし	計画なし	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		③高品質・高付加価値化商品の開発	ア 実需者の要望（ねじれ・乾燥等）に対応した高品質化【製材・県・市】	計画	試験研究等開発・改善の取組	試験研究等開発・改善の取組	試験研究等開発・改善の取組		
				実績	・高品質化の要望に対応するため、中山間地域研究センターと連携して乾燥技術を検討した・木材製品の高付加価値・高品質化に必要な設備の導入支援により出荷体制を強化した	各種交付金を活用し、県と連携した製材施設整備（製材機インバータ）を進めた（再掲）	高品質化効率化を拡大するため、引き続き、製材施設整備を支援した（再掲）	高品質化効率化を拡大するため、引き続き、製材施設整備を支援する（再掲）	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			イ 小径木や端材を活用した商品や大径材を活用した商品の開発【製材・市】	計画	試験研究等開発・改善の取組	試験研究等開発・改善の取組	既存商品動向・実需要望把握	試験研究等開発・改善の取組	
				実績	下地材（胴縁）としての活用を検討した	下地材（胴縁）としての活用を引き続き検討した	市場では、マツの小径木を利用したクイの作成や端材を利用したウッドブロックの作成を行った	引き続き、活用について検討していく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			④スギ・ヒノキの増産伴う活用推進	計画	性能・強度表示・統一規格検討・実践	性能・強度表示・統一規格検討・実践	性能・強度表示・統一規格検討・実践	性能・強度表示・統一規格検討・実践	性能・強度表示・統一規格検討・実践
				実績	まちづくりセンター等公共施設建築の際に木材供給協議を行い円滑な材料供給を実施した	今後の公共施設建築に向け、必要材料積等の把握に努めた	公共施設建築の際に必要な木材供給協議を行い、今後の材料供給の情報共有を行った	公共施設建築の際に木材供給協議を行い、円滑な材料供給を実施する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
				計画	住宅部材活用研究	住宅部材活用研究	住宅部材活用研究	住宅部材活用研究	住宅部材活用研究
				実績		木材の利用促進に関する基本方針を改正、し一般建築物への木造化推進を明文化した	メガバンクと提携し、市産材を使用した一般建築物に対しての低金利制度を導入した	一般建築物への木造化、木質化（市産材）に向けた支援策を導入する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
				計画	供給先等需要動向の把握				
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了：項目削除				
		⑤端材等の利用促進	ア 木質バイオマス発電原料利用に加え畜産等の地域利用検討【製材・市】	計画	価格・形状・供給手法等把握・実行可能性研究				
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了：項目削除				

重点施策		具体的 行動計画	主な取り組み内容 【主担当組織】	計画 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(1)森林を活かし地域産業を伸ばす	5)木材製品の販路・販売の拡大	①木材を使う家造りの意義の啓発	ア 原木生産、流通、加工、設計建築、森林整備の事業者一体となった営業・宣伝の実践【設計・建築・市】	計画	・各事業者の取組展開	・各事業者の取組展開	・各事業者の取組展開	・各事業者の取組展開	・各事業者の取組展開
				実績	市産業企画課と連携し、店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施した	市産業企画課と連携し、店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施した	店舗側の都合により、市産材活用の実施を中止にした	引き続き店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		②市産材認証の仕組みづくりと民間への波及促進	ア 市産材認証の仕組みづくり【森組・市場・製材・設計・建築・市】	計画	認証の仕組み構築・実行				
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了：項目削除				
				計画	公共建築物での利用状況・助成制度等PR	公共建築物での利用状況・助成制度等PR	公共建築物での利用状況・助成制度等PR	公共建築物での利用状況・助成制度等PR	公共建築物での利用状況・助成制度等PR
				実績	・市産業企画課と連携し、店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施した(再掲)	・木材の利用促進に関する基本方針を改正し一般建築物への木造化推進を明文化した(再掲)	メガバンクと提携し、市産材を使用した一般建築物に対しての低金利制度を導入した(再掲)	・引き続き店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施する(再掲) ・一般建築物への木造化、木質化に向けた支援策を導入する(再掲)	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		③地域材供給体制構築	ア 各工場連携による家一軒分の部材供給の仕組みづくり【製材・建築・設計・県・市】	計画	供給の仕組み構築・実行	供給の仕組み構築・実行	供給の仕組み構築・実行	供給の仕組み構築・実行	供給の仕組み構築・実行
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了：項目削除				
		④営業機能の強化	ア 原木生産、流通、加工、設計、建築、森林整備の事業者共同の営業拠点開設検討【製材・建築・市】	計画	・市内外でのマーケティング活動強化と支援 ・拠点設置・営業展開と取組支援	・市内外でのマーケティング活動強化と支援 ・拠点設置・営業展開と取組支援	・市内外でのマーケティング活動強化と支援 ・拠点設置・営業展開と取組支援	・市内外でのマーケティング活動強化と支援 ・拠点設置・営業展開と取組支援	・市内外でのマーケティング活動強化と支援 ・拠点設置・営業展開と取組支援
				実績	R2.8月からATC(アジア太平洋トレードセンター)輸入住宅促進センター常設展示場へ出展している(大阪3社参加) ・展示商談会へ出展 ・県外事業体の招待 ・建築物見学会開催 ・新商品開発・県外販路の開拓支援	R2.8月からATC(アジア太平洋トレードセンター)輸入住宅促進センター常設展示場へ出展している(大阪3社参加) ・展示商談会へ出展 ・県外事業体の招待 ・建築物見学会開催 ・新商品開発・県外販路の開拓支援	R2.8月からATC(アジア太平洋トレードセンター)輸入住宅促進センター常設展示場へ出展している(大阪3社参加) ・展示商談会へ出展 ・県外事業体の招待 ・建築物見学会開催 ・新商品開発・県外販路の開拓支援	R2.8月からATC(アジア太平洋トレードセンター)輸入住宅促進センター常設展示場へ出展している(大阪3社参加) ・展示商談会へ出展 ・県外事業体の招待 ・建築物見学会開催 ・新商品開発・県外販路の開拓支援	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
	6)公共建築物等における木材の利用	①公共建築物の木造化・木質化の推進	ア 大田市木材の利用促進に関する基本方針の実行確保【市】	計画	・庁内会議での実行管理 ・木材利用事例集作成・配布 ・関係各課への利用促進説明会開催	・庁内会議での実行管理 ・木材利用事例集作成・配布 ・関係各課への利用促進説明会開催	・庁内会議での実行管理 ・木材利用事例集作成・配布 ・関係各課への利用促進説明会開催	・庁内会議での実行管理 ・木材利用事例集作成・配布 ・関係各課への利用促進説明会開催	・庁内会議での実行管理 ・木材利用事例集作成・配布 ・関係各課への利用促進説明会開催
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了：項目削除				
		②市産材認証の仕組みづくりと民間への波及促進(再掲)	ア 市産材認証の仕組みづくり【森組・市場・製材・設計・建築・市】	計画	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了：項目削除				
				実績					
				計画	公共建築物での利用状況・助成制度等PR	公共建築物での利用状況・助成制度等PR	公共建築物での利用状況・助成制度等PR	公共建築物での利用状況・助成制度等PR	公共建築物での利用状況・助成制度等PR
				実績	市産業企画課と連携し、店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施した(再掲)	市産業企画課と連携し、店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施した(再掲)	店舗側の都合により、市産材活用の実施を中止にした(再掲)	引き続き店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施する(再掲)	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載

重点施策		具体的 行動計画	主な取り組み内容 【主担当組織】	計画 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(2)森林を守り育て公益的機能を伸ばす	1)生産(伐採)の体系	①伐採時期を明確にした森林管理(経営)の推進	ア 需要動向や生産目標に応じた伐採期間による管理(経営)の実行【森組・市】	計画	意識共有と普及	経営計画等に反映	経営計画等に反映	経営計画等に反映	経営計画等に反映
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
	2)持続可能な森林管理(経営)システムの構築	①森林情報の共有や活用の仕組み構築	ア 伐採届、森林経営計画策定、森林整備関係補助事業等実施者が連携し、伐採・再生・保育箇所や森林所有者の情報を共有する仕組みづくり【森組・市】	計画	情報共有の仕組み構築	事業体連携協議の場づくり	役割協議	利活用のルール協議	利活用のルール協議
				実績	・山林での地籍調査の実施拡大に向けた情報収集と地籍調査担当課と連携協議を行った ・林地台帳の活用により情報共有を行った	・県から提供を受ける航空レーザデータの活用方法を同様に取組みを開始する県内3市と情報共有した ・業務DX化に向けた事業を委託した	・県から提供を受ける航空レーザデータの活用し、ゾーニング、境界明確化を計画的に開始した ・業務のDX化による運用を開始した	これまでの活動を活用し、境界明確化を行っていき、業務の提案等につなげていく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		②森林所有者への働きかけ	ア 森林境界の明確化や適期作業の周知【森組・市】	計画	・広報・機関誌による周知	・広報・機関誌による周知	・広報・機関誌による周知	・広報・機関誌による周知	・広報・機関誌による周知
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
			イ 森林の集約化の必要性等周知【森組】	計画	・関係者一体の座談会開催	・関係者一体の座談会開催	・関係者一体の座談会開催	・関係者一体の座談会開催	・関係者一体の座談会開催
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
		③持続的に森林管理(経営)を行う事業体強化	○高度な施業技術と林業管理(経営)の習得 ア 伐採時の収支や植栽・保育の経費・技術を有する体制整備【森林の集約化能力向上】 【伐採技術とコスト削減の技能・知識】 【最適再生手法と再生コスト削減の技能・知識】 【森組・県】	計画	・森林の集約化に併せて提案能力研修企画	・森林の集約化に併せて提案能力研修企画	・森林の集約化に併せて提案能力研修企画	・森林の集約化に併せて提案能力研修企画	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
				実績	施業後の実績データの蓄積による、提案時の精度向上を行った	森林プランナー育成研修(愛媛)や路網整備研修(松江)に参加し、職員のスキルアップを行った	航空レーザデータの活用による推進団地の樹立及び路網計画の策定を行った	これまでの活動を活用し、境界明確化を行っていき、業務の提案等につなげていく	
			○森林経営管理制度の活用 ア 森林経営推進センター等と連携し、新たな森林管理システムを活用して森林を適切に管理する【市、森組、県、推進センター】	計画	・対象エリアの選定、計画策定、森林管理				
				実績	温泉津町太田モデル地区での経営管理集積計画の策定及び再委託を実施した	川合町忍原において境界明確化を実施し、林業専用道を核とした新たなモデル地区の候補地とした	モデル地区内において森林経営管理制度の活用について検討した	再委託を受託した森林について、林専道の開設も完了し、主伐再造林の実行を行う可能な限り境界明確化の活動を行っていき、困難な案件の解消に新たな森林管理システムの活用を検討していく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載

重点施策	具体的 行動計画	主な取り組み内容 【主担当組織】	計画 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(2) 森林を守り育て公益的機能を伸ばす	③ 確実な森林再生と森林管理(経営)の低コスト化	① 森林再生の確実な実施	計画	研修参加技術取得	研修参加技術取得	組織内研修現場取組展開	組織内研修現場取組展開	組織内研修現場取組展開
			実績	第1期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
			計画	抵抗性マツ、広葉樹など幅広い植栽樹種研究	抵抗性マツ、広葉樹など幅広い植栽樹種研究	抵抗性マツ、広葉樹など幅広い植栽樹種研究	抵抗性マツ、広葉樹など幅広い植栽樹種研究	抵抗性マツ、広葉樹など幅広い植栽樹種研究
			実績	早生樹種の導入を検討した	県内で広がる植栽木に対する被害問題と対策を検討した	早生樹であるセンダンの導入を検討した	令和6年度で検討したセンダンの導入を実施する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			計画		研修参加技術取得	組織内研修現場取組展開	組織内研修現場取組展開	・組織内研修現場取組展開 ・コンテナ苗木生産検討
			実績	第1期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
		② 森林管理(経営)の低コスト化	計画	コンテナ苗木生産検討	コンテナ苗木生産検討	コンテナ苗木生産検討	コンテナ苗木生産検討	コンテナ苗木生産検討
			実績	島根県で推奨されている植栽方法を基本とし、継続して実施した	林業・木材産業循環成長対策交付金事業の低コスト再造林対策を活用し、一貫型施策を実施した	・島根県で推奨されている植栽方法を基本とし、継続して実施した ・コンテナ苗木生産者への生産量拡大へ向けた施設への支援を行った	・島根県で推奨されている植栽方法を基本とし、継続して実施する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			計画					
			実績	第1期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
			計画	先進事例調査検討	先進事例調査検討	先進事例調査検討	先進事例調査検討	先進事例調査検討
			実績	中山間研究センター等の試験、分析を参考に、2齢級下刈及び3齢級除伐の低減について、検証を行った	中山間研究センター等の試験、分析の実証のための事業地を提供(西上山市有林)した	低密度植栽を実施した	今後も低密度植栽を検討していく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
	④ 災害に強い森林づくり	① 公的機関の森林整備推進	計画	・該当地調査 ・県・法人への実施働きかけ	・該当地調査 ・県・法人への実施働きかけ	・該当地調査 ・県・法人への実施働きかけ	・該当地調査 ・県・法人への実施働きかけ	・該当地調査 ・県・法人への実施働きかけ
			実績	集約化した一定規模以上の主伐地において、保安林における水源林造林の達成を実現した	集約化した一定規模以上の主伐地において、保安林における水源林造林の達成を実現した	引き続き集約化した一定規模以上の主伐地において、保安林における水源林造林の協議をした	引き続き集約化した一定規模以上の主伐地において、保安林における水源林造林の契約をする	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		② 森林の適正な整備の推進	計画					
			実績	第1期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
		③ 施業技術の改善	計画					
			実績	第1期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
		① 森林環境譲与税及び森林経営管理制度の活用	計画	関係事業者と協議 支援策の検討・実施	関係事業者と協議 支援策の検討・実施	関係事業者と協議 支援策の検討・実施	関係事業者と協議 支援策の検討・実施	関係事業者と協議 支援策の検討・実施
			実績	関係機関と連携し、森林情報、機械設備、ICT化など生産から流通まで情報共有と連携したシステムを構築した	原木生産→流通→加工納材の流れを効率化、低コスト化、高品質化を目指し、県と連携した支援策を実施した	原木生産→流通→加工納材の流れを効率化、低コスト化、高品質化を目指し、県と連携した支援策を実施した	引き続き島根県と連携をし、需要の調査を続けていく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			計画	対象エリアの選定、計画策定、森林管理				
			実績	温泉津町太田モデル地区での経営管理集積計画の策定及び再委託を実施した(再掲)	・温泉津町太田モデル地区での林専道開設の測量設計を行った ・経営推進センターの研修会で、大田市との取り組みを情報提供した	航空レーザーデータを活用した境界明確化と意向調査を実施し、森林管理を推進した	国の事業を活用し、協議会を立ち上げて、航空レーザーデータを活用した境界明確化と意向調査を実施し、森林管理を推進する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載

重点施策		具体的 行動計画	主な取り組み内容 【主担当組織】	計画 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(3)森林を使い次世代につなげる	1)教育分野と連携した森林への理解促進	①世代ごとの森林理解の促進	ア 全小学校での緑の少年団結成【市】	計画	・緑化推進委員会と連携し結成促進 緑の少年団活動支援	・緑化推進委員会と連携し結成促進 緑の少年団活動支援	・緑化推進委員会と連携し結成促進 緑の少年団活動支援	・緑化推進委員会と連携し結成促進 緑の少年団活動支援	・緑化推進委員会と連携し結成促進 緑の少年団活動支援
				実績	市内NPO法人や取り組み団体と協力し市内小中学校への普及を図った	市内NPO法人や取り組み団体と協力し市内小中学校への普及を図った	高山小学校でのみどりの道の環境整備等、市内の小学校取り組みの維持を行った	引き続き市内NPO法人や取り組み団体と協力し市内小中学校への普及を図る	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			イ 森林作業体験の企画【市等関係者】	計画	・体験活動実施	・体験活動実施	・体験活動実施	・体験活動実施	・体験活動実施
				実績	・三瓶北の原市有林での散策路、周回路を活用した ・三瓶北の原市有林での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施した	・三瓶北の原市有林での散策路、周回路を活用した ・三瓶北の原市有林での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施した	・三瓶北の原で島根企業参加の森づくり(合銀)の活動を実施した ・仁摩高校にて、ヨロイマツの接ぎ木の体験授業を行った	三瓶北の原での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			ウ 職業紹介など就業促進【市等関係者】	計画	就職イベント参加や学校訪問	就職イベント参加や学校訪問	就職イベント参加や学校訪問	就職イベント参加や学校訪問	就職イベント参加や学校訪問
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
			エ 森や木とふれあう場の提供【市】	計画	市の各部署と連携・協調したふれあいの場の設置研究	市の各部署と連携・協調したふれあいの場の設置研究	市の各部署と連携・協調したふれあいの場の設置研究		
				実績	・三瓶北の原市有林での散策路、周回路を活用した(再掲) ・三瓶北の原市有林での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施した(再掲)	・三瓶北の原市有林での散策路、周回路を活用した(再掲) ・三瓶北の原市有林での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施した(再掲)	・三瓶北の原で島根企業参加の森づくり(合銀)の活動を実施した(再掲) ・仁摩高校にて、ヨロイマツの接ぎ木の体験授業を行った(再掲)	三瓶北の原での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施する(再掲)	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		②市有林等の活用促進	ア 市有林の学校林活用【市】	計画	利活用ルール協議	利活用ルール協議	利活用ルール協議		
				実績	・三瓶北の原市有林での散策路、周回路を活用した ・邇摩高校の林業授業化を見据え学校林としての活用について関係者と協議した	三瓶山西の原市有林でのヨロイマツ通じた森林保全を邇摩高校総合学習で県、林業支援団体と協力して実施した	仁摩高校の学校林を使用した林業授業も検討したが、諸事情により断念した	市有林を利用した森林学習の検討を各関係者とする	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
			イ 市産材活用(机等)【市・関係者】	計画	・活用方法検討	・活用方法検討	・活用方法検討 ・関係者への協力要請・協議	・活用方法検討 ・関係者への協力要請・協議	・活用方法検討 ・関係者への協力要請・協議
				実績	市産業企画課と連携し、店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施した(再掲)	市産業企画課と連携し、店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施した(再掲)	メガバンクと提携し、市産材を使用した一般建築物に対しての低金利制度を導入した(再掲)	・引き続き店舗事務所での増改築に市産材活用支援を実施する(再掲) ・一般建築物への木造化、木質化に向けた支援策を導入する(再掲)	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載

2) 環境分野と連携した森づくり	① 森林の多面的機能や森林環境を学ぶ場や機会の提供	ア 企業と連携した保全活動の取組推進【県・市・関係者】	計画	・新規企業への働きかけ検討	・新規企業への働きかけ検討	・新規企業への働きかけ検討	・新規企業への働きかけ検討	・新規企業への働きかけ検討
			実績	県行記念造林地の新たな活用方法を検討した(企業の森誘致等)	・三瓶北の原市有林での散策路、周回路を活用した(再掲) ・三瓶北の原市有林での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施した(再掲)	三瓶北の原で島根企業参加の森づくり(合銀)の活動を実施した(再掲)	三瓶北の原での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施する(再掲)	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		イ 森林・林業・木材産業等関係者による出前授業【市等関係者】	計画	市内企業への出前授業実行	市内企業への出前授業実行	市内企業への出前授業実行	市内企業への出前授業実行	市内企業への出前授業実行
			実績	市内NPO法人や取り組み団体と協力し市内小中学校への普及を図った(再掲)	馬路まちづくりセンターの建築現場での県立遼摩高網林業学習を実施した	農林大学校や仁摩高校を対象とした授業を市場・製材所それぞれが行った	引き続き、市内の小学校から農林大学校を対象にした学習機会の提供を検討する	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		② 市有林の活用促進	計画	貸出制度構築	貸出制度構築	貸出制度構築	貸出制度構築	貸出制度構築
			実績	・三瓶北の原市有林での散策路、周回路を活用した(再掲) ・三瓶北の原市有林での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施した(再掲)	・三瓶北の原市有林での散策路、周回路を活用した(再掲) ・三瓶北の原市有林での島根企業参加の森づくり(山陰合同銀行)の活動を実施した(再掲)	企業の森を森づくり事業とするための山陰合同銀行と連携した体制整備を行った(再掲)	企業の森を森づくり事業とするための山陰合同銀行と連携した体制整備を行う(再掲)	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
	3) 地域活動への参画	ア 地域活動の広報による周知【市・関係者】	計画	・森林・林業・木材産業関係者と連携した周知活動	・森林・林業・木材産業関係者と連携した周知活動	・森林・林業・木材産業関係者と連携した周知活動	・森林・林業・木材産業関係者と連携した周知活動	・森林・林業・木材産業関係者と連携した周知活動
			実績	市内NPO法人や取り組み団体と協力し市内小中学校への普及を図った(再掲)	市内NPO法人や取り組み団体と協力し市内小中学校への普及を図った(再掲)	企業の森での山陰合同銀行の活動やサイクリストの活動の場を提供することで、SNS等での発信をしてもらった	引き続き、活動の場を提供する等をし、SNSを活用して活動の周知を図る	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載
		① 地域活動に市民が参加しやすい環境整備や支援	計画	・情報提供	・情報提供	・情報提供	・情報提供	・情報提供
			実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了: 項目削除				
		ウ 農業、畜産など異分野(イベント・地域起こし、鳥獣被害対策など)との連携【市・関係者】	計画	・関係者と連携・取組実行	・関係者と連携・取組実行	・関係者と連携・取組実行	・関係者と連携・取組実行	・関係者と連携・取組実行
			実績	農林水産課、営農団体等と森林整備の情報共有を図った	農林水産課、森林組合等と鳥獣被害の情報共有を図り、シカ被害対策について検討を行った	農林水産課、森林組合等と鳥獣被害の情報共有を図り、シカ被害の対策を実施した	引き続き、森林組合、いづも財団、NPO等との連携を図り、情報を活用していく	← ← R4・5・6実績、R7計画を記載

重点施策		具体的 行動計画	主な取り組み内容 【主担当組織】	計画 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(3)森 林を使 い次世 代につ なげる	4)観 光・文化 と連携し た森林の 利活用	①地域資源を 活用した森林 理解の促進	○国立公園 ア 三瓶山麓施設や 人的資源の積極的 活用(木工館・キャン プ場・青少年の家・自然 館サヒメルなど) 【関係者・市】	計画	関係部署と連携・取組実行	関係部署と連携・取組実行	関係部署と連携・取組実行	関係部署と連携・取組実行	関係部署と連携・取組実行
				実績	・三瓶北の原市有林での散策 路、周回路を活用した(再掲) ・県行記念造林地の新たな活用 法を検討した(企業の森誘致等) (再掲)	・三瓶北の原市有林での散策 路、周回路を活用した(再掲) ・県行記念造林地の新たな活用 法を検討した(企業の森誘致等) (再掲)	三瓶北の原で島根企業参加の 森づくり(合銀)の活動を実施し た(再掲)	三瓶北の原での島根企業参加 の森づくり(山陰合同銀行)の活 動を実施する(再掲)	← ← R4・5・6実績、R7 計画を記載
				計画					
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
				計画	県の実証試験連携	県の実証試験連携	県の実証試験連携		
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
			○世界遺産 エ 竹林の拡大防止 の取組連携 【県・市】	計画	木製イス等の設置・看板など研 究・協議	木製イス等の設置・看板など研 究・協議	木製イス等の設置・看板など研 究・協議	木製イス等の設置・看板など研 究・協議	木製イス等の設置・看板など研 究・協議
				実績	東上山市有林での立木売り払い による主伐を実施した(再掲)	東上山市有林等でデジタル計測 を実施し、新技術の検証を行うと ともに立木売り払いを実施した (再掲)	引き続き市有林の立木を売払い を行うとともに、森林由来のJクレ ジット申請に向けて動いた	Jクレジットの申請を行い、モニタ リング等を実施していく	← ← R4・5・6実績、R7 計画を記載
				計画	取組の企画立案	取組の企画立案	取組の企画立案	取組の企画立案	取組の企画立案
				実績	・三瓶北の原市有林での散策 路、周回路を活用した(再掲) ・県行記念造林地の新たな活用 法を検討した(企業の森誘致等) (再掲)	・三瓶北の原市有林での散策 路、周回路を活用した(再掲) ・県行記念造林地の新たな活用 法を検討した(企業の森誘致等) (再掲)	企業の森での山陰合同銀行の 活動やサイクリストによるマウン テンバイクコースの活用を行った	引き続き企業の森の活動、サイ クリストによるマウンテンバイク コースの活用を行う	← ← R4・5・6実績、R7 計画を記載
				計画	取組事例調査	関係部署・関係者研究・協議	関係部署・関係者研究・協議	情報発信の仕組み構築	情報発信の仕組み構築
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
	5)山 村・伝統 と木育の 推進	①山村の伝統 文化の体験な ど都市との交 流促進	ア 炭焼き体験等と健康 分野が連携した体 験型ツーリズムの検 討 【市】	計画	取組の企画立案	取組の企画立案	取組の企画立案	取組の企画立案	取組の企画立案
				実績	・三瓶北の原市有林での散策 路、周回路を活用した(再掲) ・県行記念造林地の新たな活用 法を検討した(企業の森誘致等) (再掲)	・三瓶北の原市有林での散策 路、周回路を活用した(再掲) ・県行記念造林地の新たな活用 法を検討した(企業の森誘致等) (再掲)	企業の森での山陰合同銀行の 活動やサイクリストによるマウン テンバイクコースの活用を行った	引き続き企業の森の活動、サイ クリストによるマウンテンバイク コースの活用を行う	← ← R4・5・6実績、R7 計画を記載
			イ 木育活動など都 市住民への情報発 信 【市】	計画	取組事例調査	関係部署・関係者研究・協議	関係部署・関係者研究・協議	情報発信の仕組み構築	情報発信の仕組み構築
				実績	第Ⅰ期の実績をもって取り組み終了:項目削除				
		②木工体験な どによる木へ ふれあう機会 の拡大と意義 の普及	ア 木工館と周辺イベ ント等と連携した木工 体験 【関係者・市】	計画	取組体制内容等協議・実行	取組体制内容等協議・実行	取組体制内容等協議・実行	取組体制内容等協議・実行	取組体制内容等協議・実行
				実績	・三瓶北の原市有林での散策 路、周回路を活用した(再掲) ・県行記念造林地の新たな活用 法を検討した(企業の森誘致等) (再掲)	・三瓶北の原市有林での散策 路、周回路を活用した(再掲) ・県行記念造林地の新たな活用 法を検討した(企業の森誘致等) (再掲)	三瓶北の原で島根企業参加の 森づくり(合銀)の活動を実施し た(再掲)	大田市林業祭を木工館周辺で 行い、連携したイベントづくりを行 う	← ← R4・5・6実績、R7 計画を記載